



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 ソーシャルワイヤー株式会社 上場取引所 東
コード番号 3929 URL <https://www.socialwire.net/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢田 峰之
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 松浦 貴昭 TEL 03-5363-4872
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,160	△6.2	△63	—	△78	—	△227	—
2023年3月期第2四半期	2,302	△1.9	△184	—	△176	—	△149	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △211百万円 (—%) 2023年3月期第2四半期 △128百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△38.01	—
2023年3月期第2四半期	△25.04	—

(注) 2023年3月期第2四半期及び2024年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	1,773	△6	△0.9	△2.68
2023年3月期	4,724	211	4.2	32.84

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 △15百万円 2023年3月期 196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

通期の連結業績予想につきましては、株式会社プラップジャパンとの資本業務提携における経営資源の体制協議に関しまして、資本業務提携に関する協議について調整及び審議をおこなう事象の発生があり、今後の期中の業績に与える影響が不透明であるため、通期の連結業績予想を未定とさせていただきます。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	6,108,600株	2023年3月期	6,108,600株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	136,053株	2023年3月期	136,006株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	5,972,576株	2023年3月期2Q	5,972,594株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。また、ホームページにも同日掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、外食・宿泊・娯楽など対面型サービス等の国内需要を中心に景気は緩やかに回復しているものの、電気・ガス等のエネルギー価格の高騰や、原油高及び円安に伴う輸入価格の上昇を主因とする物価高の影響で、景気の実勢は依然として不透明な状況です。

このような市場環境のもと、当社グループは「全ての魅力にスポットライトが当たる社会へ」を新たなコーポレートビジョンとし、付加価値の追求による企業価値の向上による高付加価値経営を軸とした新経営方針のもと、コロナ禍以降のニーズ・市場の成長を見据えたうえで戦略を策定し、プロダクト投資を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,160,394千円（前年同期比6.2%減）、営業損失63,575千円（前年同期は営業損失184,855千円）、経常損失78,089千円（前年同期は経常損失176,632千円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は227,042千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失149,529千円）となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(デジタルPR事業)

デジタルPR事業は、企業や官公庁・団体等に対して、インフルエンサーPRサービス、新聞・雑誌・WEB・SNS等各種メディアの調査・報告サービス、製品やサービス・事業等に関するリリース配信サービスを運営しております。

当第2四半期連結累計期間において、リリース配信サービスは、前四半期より引き続き新規獲得活動を抑制し、既存顧客の取引単価を大幅上昇させることを優先事項として取り組みました。そのため、施策方針の影響もあり、利用社数、配信数ともに減少（それぞれ前年同期比22.3%減、前年同期比19.2%減）となりました。インフルエンサーPRサービスは前四半期より引き続き、セミナー等の積極的な販促活動に基づいた営業活動の効果もあり、案件数は増加（前年同期比15.3%増）しました。クリッピングサービスについては、昨今の紙媒体数減少の影響もあり案件数は減少（前年同期比11.2%減）しました。

また、クリッピングサービスよりスピニアウトしましたリスクチェックサービスについては、コンプライアンス意識の高まりを受け、案件数は大幅に増加（前年同期比52.1%増）しました。

この結果、デジタルPR事業の売上高は1,225,402千円（前年同期比3.3%減）となり、セグメント利益は199,012千円（前年同期比2.6%増）となりました。

(シェアオフィス事業)

シェアオフィス事業は、2023年6月29日に開催しました当社定時株主総会にて、「シェアオフィス事業」セグメントを構成していたヒューリックビズフロンティア株式会社（国内シェアオフィスサービスのうち、横浜拠点に係るものを除く国内9拠点に係る事業）を2023年9月1日に譲渡いたしました。このため、国内シェアオフィスサービス（横浜を除く9拠点）につきましては、2023年4月から2023年8月までの5ヶ月間が稼働実績となっており、主要サービスであるシェアオフィスについては、国内拠点について累積稼働席数は減少（前年同期比13.5%減）となりました。海外拠点については、前年度にタイ拠点の撤退を行う等、リストラクチャリングによる統廃合の進行もあり、累積稼働席数は大幅に減少（前年同期比26.3%減）いたしました。費用面におきましては、第1四半期連結累計期間より引き続き、エネルギー費用の高騰による運営費用の増加、昨年度開設をおこなった新規拠点の損益分岐稼働率までの費用負担が重く、黒字化まで時間を要する状況となっております。

この結果、シェアオフィス事業の売上高（セグメント間売上高を除く）は934,991千円（前年同期比9.6%減）となり、セグメント損失は66,158千円（前年同期は191,651千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の額は1,773,335千円と、前連結会計年度末に比べ2,950,753千円の減少となりました。資産の減少の主な要因は、ヒューリックビズフロンティア株式会社（国内シェアオフィスサービスのうち、横浜拠点に係るものを除く国内9拠点に係る事業）の譲渡を行ったこと等による有形固定資産1,099,410千円の減少及び差入保証金が1,379,912千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の額は1,779,986千円と、前連結会計年度末に比べ2,732,329千円の減少となりました。負債の減少の主な要因は、ヒューリックビズフロンティア株式会社（国内シェアオフィスサービスのうち、横浜拠点に係るものを除く国内9拠点に係る事業）の譲渡を行ったこと等による資産除去債務（流動負債計上分を含む。）548,841千円及び預り保証金（長期預り保証金を含む。）335,542千円の減少、また、各銀行への返済を行ったことによる長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が1,428,185千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の額は6,651千円の債務超過となり、前連結会計年度末に比べ218,424千円の減少となりました。純資産の減少の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失227,042千円を計上したこと等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は550,821千円と、前連結会計年度末に比較して464,073千円の減少となりました。

当第2四半期連結結果計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は71,821千円（前年同期は6,960千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失222,629千円千円の減少要因があった一方、減価償却費137,612千円、事業譲渡関連損失155,586千円等の増加要因等があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は1,166,617千円（前年同期は292,654千円の支出）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出61,093千円等があった一方、ヒューリックビズフロンティア株式会社（国内シェアオフィスサービスのうち、横浜拠点に係るものを除く国内9拠点に係る事業）の譲渡を行ったことによる事業譲渡による収入1,228,270千円等があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,707,713千円（前年同期は149,695千円の獲得）となりました。これは主に、短期借入れによる収入550,000千円があった一方、長期借入金の返済による支出1,628,687千円等があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期業績見通しについては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況と現時点で入手可能な情報をもとに、2023年5月22日に公表いたしました2024年3月期の通期連結業績予想を変更し、未定としております。未定とした事由につきまして、2023年9月14日付「株式会社ブラップジャパンとの資本業務提携、第三者割当による新株式発行、並びに、主要株主である筆頭株主の異動及び親会社の異動に関するお知らせ」及び「臨時株主総会の開催及び臨時株主総会招集のための基準日設定並びに決算期変更を含む定款一部変更に関するお知らせ」に記載しましたとおり、株式会社ブラップジャパンとの資本業務提携における経営資源（事業資産、人的資源及び顧客基盤等）のシナジー効果について体制協議をおこなっておりましたが、資本業務提携に関しまして調整及び協議に関する事象が発生したことにより、今後の期中の業績に与える影響が不透明であるためであります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは当第2四半期連結会計期間末で債務超過となったことから、継続企業の前提に関する重要な事象等が存在しておりますが、黒字化に時間を要しておりました「シェアオフィス事業」について横浜拠点に係るものを除く国内9拠点に係る事業をヒューリック株式会社に2023年9月1日に譲渡し、横浜拠点については2023年10月31日に閉鎖したことにより、収益構造の改善が見込まれること、及び「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（重要な後発事象）」に記載のとおり、資産除去債務の戻入れ益として約100百万円を計上する見込みであることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,014,895	550,821
受取手形、売掛金及び契約資産	342,358	259,730
その他	324,564	417,498
貸倒引当金	△4,524	△3,179
流動資産合計	1,677,293	1,224,870
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,646,792	122,541
工具、器具及び備品	514,032	60,432
使用権資産	422,127	458,378
その他	69,910	27,965
減価償却累計額	△1,420,661	△536,526
有形固定資産合計	1,232,201	132,791
無形固定資産		
のれん	87,871	72,407
ソフトウェア	184,620	169,403
その他	623	14,327
無形固定資産合計	273,115	256,138
投資その他の資産		
差入保証金	1,474,624	94,711
その他	160,566	166,199
貸倒引当金	△93,713	△101,377
投資その他の資産合計	1,541,478	159,534
固定資産合計	3,046,795	548,464
資産合計	4,724,089	1,773,335

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	533,000	298,000
1年内返済予定の長期借入金	528,288	144,953
未払金	334,536	391,107
未払法人税等	20,766	4,359
契約負債	503,384	397,146
リース債務	100,439	109,504
その他	528,790	256,416
流動負債合計	2,549,206	1,601,488
固定負債		
長期借入金	1,194,813	149,963
資産除去債務	659,407	8,210
リース債務	57,957	17,032
その他	50,931	3,292
固定負債合計	1,963,110	178,498
負債合計	4,512,316	1,779,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	354,789	354,789
資本剰余金	294,556	294,556
利益剰余金	△402,303	△629,346
自己株式	△83,906	△83,924
株主資本合計	163,136	△63,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,214	7,266
為替換算調整勘定	30,846	40,680
その他の包括利益累計額合計	33,060	47,947
新株予約権	2,632	212
非支配株主持分	12,943	9,113
純資産合計	211,772	△6,651
負債純資産合計	4,724,089	1,773,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,302,432	2,160,394
売上原価	1,391,375	1,215,087
売上総利益	911,057	945,307
販売費及び一般管理費	1,095,912	1,008,882
営業損失(△)	△184,855	△63,575
営業外収益		
受取利息	661	1,346
受取手数料	325	255
リース解約益	17,709	—
その他	5,142	1,381
営業外収益合計	23,838	2,983
営業外費用		
支払利息	12,851	12,318
為替差損	—	3,115
その他	2,764	2,064
営業外費用合計	15,616	17,498
経常損失(△)	△176,632	△78,089
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,420
固定資産売却益	—	8,626
特別利益合計	—	11,046
特別損失		
減損損失	30,032	—
事業譲渡関連損失	—	155,586
特別損失合計	30,032	155,586
税金等調整前四半期純損失(△)	△206,665	△222,629
法人税、住民税及び事業税	4,736	3,883
法人税等調整額	△59,841	382
法人税等合計	△55,104	4,265
四半期純損失(△)	△151,561	△226,895
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,031	147
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△149,529	△227,042

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△151,561	△226,895
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	228	5,052
為替換算調整勘定	22,656	10,297
その他の包括利益合計	22,884	15,350
四半期包括利益	△128,676	△211,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△127,272	△212,154
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,404	609

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△206,665	△222,629
減価償却費	182,605	137,612
のれん償却額	15,464	15,464
減損損失	30,032	—
事業譲渡関連損失	—	155,586
リース解約益	△17,709	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,366	△236
受取利息及び受取配当金	△661	△1,346
支払利息	12,851	12,318
為替差損益(△は益)	△2,551	3,115
投資事業組合運用損益(△は益)	421	360
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△8,626
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	28,749	56,655
契約負債の増減額(△は減少)	34,990	△6,917
未払金の増減額(△は減少)	34,289	99,241
預り保証金の増減額(△は減少)	6,109	22,264
その他	△94,820	△179,544
小計	24,473	83,317
利息及び配当金の受取額	661	1,346
利息の支払額	△13,243	△12,225
法人税等の支払額	△4,930	△18,950
法人税等の還付額	—	18,333
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,960	71,821
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△265,160	△12,242
無形固定資産の取得による支出	△27,511	△61,093
資産除去債務の履行による支出	△9,397	—
投資有価証券の取得による支出	△12,500	—
事業譲渡による収入	—	1,228,270
差入保証金の回収による収入	21,754	24,753
差入保証金の差入による支出	△331	△15,387
その他	491	2,316
投資活動によるキャッシュ・フロー	△292,654	1,166,617
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	550,000
短期借入金の返済による支出	△200,000	△785,000
長期借入れによる収入	397,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△208,580	△1,628,687
リース債務の返済による支出	△38,724	△39,567
非支配株主への配当金の支払額	—	△4,440
その他	—	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	149,695	△1,707,713
現金及び現金同等物に係る換算差額	21,740	5,201
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△114,258	△464,073
現金及び現金同等物の期首残高	898,723	1,014,895
現金及び現金同等物の四半期末残高	784,465	550,821

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタルPR 事業	シェアオフィス 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,267,683	1,034,749	2,302,432	—	2,302,432
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	647	647	△647	—
計	1,267,683	1,035,396	2,303,080	△647	2,302,432
セグメント利益又はセグメント損失(△)	194,051	△191,651	2,400	△187,255	△184,855

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△187,255千円は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「シェアオフィス事業」セグメントにおいて、新型コロナウイルス感染拡大等による影響を受け、シェアオフィス事業の撤退や一部フロアの賃貸借契約の解約を決定した拠点について、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては30,032千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタルPR 事業	シェアオフィス 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,225,402	934,991	2,160,394	—	2,160,394
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	864	864	△864	—
計	1,225,402	935,855	2,161,258	△864	2,160,394
セグメント利益又はセグメント損失(△)	199,012	△66,158	132,854	△196,429	△63,575

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△196,429千円は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産等に関する情報

(事業譲渡による資産の著しい減少)

当第2四半期連結累計期間において、「シェアオフィス事業」を構成していた国内シェアオフィスサービスのうち、横浜拠点に係るものを除く9拠点に係る事業をヒューリック株式会社に譲渡しました。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、「シェアオフィス事業」のセグメント資産が2,573,645千円減少しております。

(重要な後発事象)

(特別利益の計上に関する事項)

2021年1月に開設しました「CROSSCOOP横浜」につきまして、2023年5月12日の取締役会にて、賃貸借契約期間の満了日である2023年10月31日をもって事業運営を終了することを決議し閉鎖いたしました。また、「CROSSCOOP横浜」の賃貸人と2023年10月31日付で、原契約における原状回復義務を免除とする覚書を締結しました。

これに伴いまして、当該資産除去債務の戻入れが発生し、2024年3月期第3四半期連結会計期間において特別利益として約100百万円を計上する予定となりました。